

1.事業概要

組込みシステム/ソフトウェア開発事業者様のご要望に基づき課題解決サービスを提供致します。事業変革/創出を推進したい。製品価値を向上させたい。高品質/高生産性を実現したい。従業員のエンゲージメントを向上して自主的活動による個人と組織の成長を推進したい。様々な解決されたい課題があります。お客様の課題をヒアリングさせて頂き課題解決の為の開発設計支援サービス・人材開発支援サービスを提供いたします。

2.支援サービスの特徴

一般的な教育サービスやコンサルサービスでは、手が届きづらい現場の課題解決に重きを置いた事業展開を進めています。組織課題は、様々であり組織で活動される人それぞれに持たれる課題も様々です。それぞれの課題に寄り沿った課題解決サービスを開発して組織で活動される方々の課題解決をご支援することで組織の課題を解決するサービスを提供致します。

3.支援サービス技術領域

支援サービス領域です。お客様の課題に基づく技術開発を進めて課題解決をご支援致します。支援サービス技術領域に記載のない技術も提供可能ですのでお気軽にご相談頂ければ幸いです。

No	項目	概要
1	DX:Digital Transformation	ビジネス/事業/開発の変革と創発の推進を実現して成長を推進する
2	Generative AI	生成AIを実開発作業への活用を実現して生産性を高める
3	APD (Autonomic and Purpose base system Development methodology)	実世界の原理に基づく要求価値/品質/生産性を高めるシステム・ソフトウェア開発方法論を実開発して製品価値/品質/生産性を向上させる
4	オブジェクト指向分析設計	複雑な物を整理して人の認知を容易にする技術とUML/SysMLを使用した分析/設計技術により生産性と品質を高める
5	開発プロセス設計技法	プロセス設計を実開発へ適用して組織品質と生産性を向上させる
6	要求開発技法	最高の価値を提供する要求開発技術により製品価値を高める
7	仕様定義技術	仕様品質と生産性を向上させる技術により製品品質を高める
8	ビジネス・システム要求定義/設計プロセス	目的に基づき最高の価値を定義してシステムを設計するプロセスにより製品価値/品質/生産性を高める (システムズエンジニアリングの実開発での進め方)
9	ソフトウェア要求定義/設計プロセス	機能/物理/利用/環境の特性で例外含め想定可能な高品質な要求定義技術と仕様品質特性を満足する仕様定義技術により高信頼性を保証し高い生産性を得る
10	アーキテクチャ開発技法	ステークホルダー要求に基づき目的で要求を整理してアーキテクチャを構築する技術により製品価値向上と標準アーキテクチャ化により組織的な品質/生産性を高める
11	リアルタイム設計技法	限られたMPU資源で時間制約やメモリ競合やインタフェースなどのリアルタイム設計技術により高品質を実現する
12	ソフトウェアプロダクトライン技法	フィーチャーによる製品価値を軸とした可変ポイントと可変仕様を定義して要求から設計/実装の変換技術により組織的に製品価値を高め高生産性を実現する
13	リファクタリング技法	設計/仕様をリバースして再構築する技術により既存製品の品質/生産性を高める
14	不具合未然防止技法	不具合の真因を分析して開発作業として再発防止を定義する技術により同種の不具合を未然防止させて再発防止策のプロセス化に組織品質レベルを向上させる
15	マネジメント技法	利害関係が異なるプロジェクト運営の方法、自主性向上技法、見積り技法、計画管理技法によりマネジメント品質が向上して品質/生産性を高める
16	組込みソフトウェア開発の定石	仕様開発からテストまでの組込みソフトウェア開発の定石による技術伝承により高品質化を実現 (MPU動作原理、H/W物理特性、ノイズ等MPUボードで実践)
17	目的モデリング	達成したい目標、目的、価値を階層的にモデル化することで目標を達成する技術により実開発上生じる様々な課題を解決さ社員のモチベーションを高めエンゲージメントを向上させる

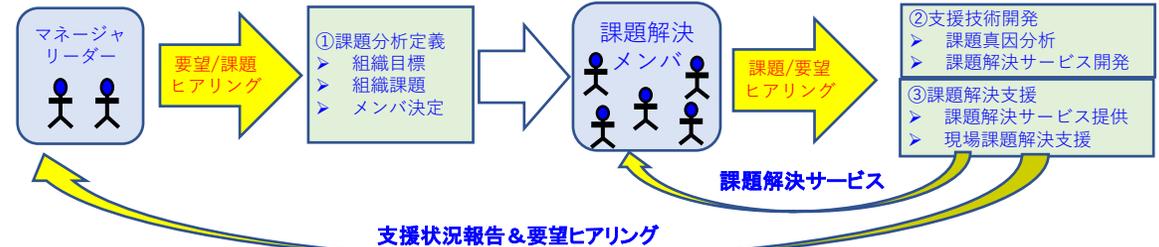
4.支援実績

開発設計支援サービス	システム要求定義/システム設計支援、アーキテクチャ開発支援 不具合再発防止改善/チェックリスト改善/生成AI活用支援
人材開発支援サービス	要求開発技法、仕様定義技法、開発プロセス、デグレード未然防止、不具合未然防止、現場の自主性向上支援、プロジェクト計画管理支援、見積り設計支援、組込みソフトウェア開発の定石の提供 ソフトウェア品質改善支援

5.支援サービス概要

現場の課題に基づいた開発設計支援サービス/人材開発支援サービスをご提供いたします

ご要望に基づき組織目標と課題を定義して課題解決メンバを特定します①。課題解決メンバ皆様方の課題に基づき課題を解決する最適な開発技術支援サービス/人材開発支援サービスを開発します②。開発した支援サービスを提供して現場での自主的な課題解決が推進できるようにご支援致します③。
講座形式：参加メンバを特定して講座形式で実開発の課題解決をご支援します。
伴走形式：実開発メンバを特定し実開発のメンバに寄り添い課題解決をご支援致します。



6.会社概要

会社名	イワハシ工学合同会社 【ホームページ：https://iwaeng.jp】
代表	岩橋 正実
所在地	〒640-8145 和歌山市岡山丁57
TEL	070-9035-8721
E-Mail	info@iwaeng.jp
設立	2024年10月1日
事業内容	開発設計支援サービス/人材開発支援サービス
主な取引先	三菱電機株式会社,ダイキン工業株式会社,富士通ラーニングメディア,JASA:組込みシステム技術協会,株式会社コア
代表プロフィール	・ 職歴 複数企業で民生、宇宙防衛開発を経て、三菱電機でFA及び設備機器システム開発/全社設計支援/全社人材開発を経てイワハシ工学を起業。 ・ 執筆/講演 リアルタイムシステム実現のための自律オブジェクト指向:生産性・品質の向上を図るためのソフトウェア開発手法出版、オブジェクト指向モデリング技術、組込みソフトウェア開発方法等複数出版、JASA/ESIP/EdgeTech等セミナー講師、情報処理学会論文発表 ・ 活動 経済産業省組込みソフトウェア開発力強化委員、IPA SECでの組込みソフトウェア開発力強化支援実施、ESIP (組込みシステム産業機構) 第1, 第2部会委員、ETロボコン関西/北陸実行委員長,情報処理学会要求工学研究会 1998年提唱の組込みシステム開発方法論A00を進化させAPDを開発。組織の課題解決支援を中心に活動中。